

令和8年度公開プロセス結果（概略版）

府省庁名 内閣府

事業名 ワクチン・新規モダリティ・治療薬等研究開発事業（基金）

事業の概要

感染症有事にいち早く、安全で有効なワクチン、治療薬等（MCM）を国内外に届けるため、平時より長期的・安定的かつ戦略的にMCMの研究開発を支援する。感染症有事には、平時のファンディングを通じて得られた最新の知見・技術やエビデンスを活用し、迅速・機動的なファンディングでMCMの早期実用化を目指す。

公開プロセスにおいて踏まえられた「点検の視点」※

※「租税特別措置・補助金見直しに関する関係閣僚等及び副大臣会議（第2回）」において示された、国民からのご提案を踏まえた各府省庁における自己点検の視点。
（参考）[各府省庁における要求・要望に向けた自己点検](#)

- 効果検証を強化し、成果に基づく制度運用へ転換すべき
- 公費負担に応じ、事業成果を国へ還元させるべき

有識者からの主な指摘事項

- 平時に蓄積した知見・技術が、感染症有事の際にどのように活用され、感染症対応能力の向上にどの程度寄与するかについて、効果発現経路を精査するとともに、実効性のある成果指標を設定すべきである。
- 感染症有事における本事業の効果を適切に検証できるよう、事後的であっても評価する仕組みを検討すべきである。
- 事業者の成長や自立を促しつつも、将来的な財政負担の軽減に資するよう、公費負担に応じて事業成果を国へ適切に還元する仕組みを、あらかじめ制度設計に組み込むべきである。